

新型コロナウイルス対策ガイドライン

【女子フットサルリーグ】

参加者が遵守すべき事項(チーム向け)

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に大会参加を見合わせる(利用当日に書面で確認を行う)
- ・体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・試合2日前に、37.5度以上の発熱した選手・STAFFは、会場入りを禁止
 - ・当日の検温で、37.5度以上の発熱者は帰宅すること。
 - ・当日の検温で、37.1度以上の選手の試合出場は、禁止致します。
 - ・チーム内に(スタッフ含む)、新型コロナウイルス感染者が出た場合は、14日間経過しない場合は、大会出場禁止とし試合は不戦敗とする。必ず、大会事務局に連絡をすること。
- ※体温計、マスク、アルコール手指消毒液等はチームで準備する事
- ※大会当日、健康チェックシートを、大会本部に提出すること。
 - ・「健康チェックシート」は、試合2週間前から毎日検温し結果を記載し、試合当日は会場内でも検温結果を記載した物を提出する
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクをすること(スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
 - ※ピッチでも、選手以外は必ず、マスクの着用を義務とする。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
- ゴミ(消毒したものも含む)は各チーム持ち帰ること
- 全試合無観客で実施するので、一般と選手・役員との区別する方法として、会場内は選手は選手証・役員はスタッフ証を首からかけること

運営・競技規則(ローカルルール適用)等変更点

- マッチコーディネーションミーティングの中止
 - ・メンバー表を、試合60分前までに、大会本部に提出 ユニフォーム色は、本部が決定する。
 - ・ユニフォーム、ピブス色は、本部が決定する。
- セレモニーの中止(試合開始・終了)
 - ・挨拶はなしとするが、審判員によるコイントスは行う
- 交代のピブスの受け渡しはなしとする。(交代ゾーン内自由とする)
 - ・各チームはピブスを、選手全員分用意すること。
- ベンチの設置はしないので、テクニカルエリア内にあること。(アップエリア兼用とする)
 - ・ピッチ作成、テクニカルエリアをサイドラインより、2m以上離すこと。
 - ・ベンチのスタッフ用椅子はオフィシャル席に用意するので自己管理(消毒し返却・2m離す)する、選手はテクニカルエリアで座る場合は各自ビニールシートを持参すること。
- 今年度は、1部のアナウンスは実施しない
- 運営担当チームの、タイムキーパー・記録はマスク着用+フェイスマスク+手袋、ボールパーソンはマスク着用+手袋
 - ・運営担当チームは試合開始前とハーフタイムにボールを消毒する
 - ・試合終了後は使用したオフィシャル席の椅子・机・フェイスマスクは消毒をすること
- 運営担当チームの使用した手袋、消毒で使用したペーパー等は運営担当チームが持ち帰る

衛生管理について(主催者準備)

- 非接触型赤外線体温測定器 2個(単4電池)
- WBGT(黒球式熱中症指数計) 1個
- 手袋
- オフシャル席 消毒液 2本
- ボール消毒用スプレー及び、使い捨てシート
- キッチンペーパー
- ごみ袋
- ラップ(パソコンキーボード用)
- 手袋(使い捨て)
- フェイスマスク

審判員について

- 大会当日、健康チェックシートを、大会本部に提出すること。
 - ・「健康チェックシート」は、試合2週間前から毎日検温し結果を記載し、試合当日は大会本部で検温し結果を記載し提出する
- 審判控室は、三つの密に(密閉・密集・密接)にならないこと
- 審判服以外で、体育館内等移動する場合は、審判証を首から掛けること

新型コロナウイルスの感染した場合の連絡

